

# 佐渡米通信 9月特別号

## 令和元年産米 集荷・検査状況報告（9/19）

本年産米の初検査が9月12日に行われ、こしいぶき・ゆきん子舞・五百万石の3種約50トンを検査した結果、1等米比率は88%という結果でした。以降、島内4か所の検査場所で延べ2,834トンを9月19日までに集荷・検査し、1等米比率は51.7%の状況となっています。

本年は、気温が高く日照も多かったことから、平年と比べて出穂期が3日程度早く推移し、収穫時期も早まりました。特に、一部ほ場では水不足による日枯れの症状となった稲も見られ、9月14～16日の連休中には、こうした特に早い収穫となったコシヒカリの刈り取りが行われました。週明け17日以降の検査において、コシヒカリの検査も若干おこなわれましたが、来週まではこしいぶき等の早生品種が主に集荷されることとなります。コシヒカリについては、今週末の刈り取りがピークになると予想されますが現在台風17号も発生しており、雨量次第では9月末頃まで刈取り作業が延びる可能性もあります。

検査状況としては、出穂後の高温により「背白未熟粒」「基部未熟粒」「心白粒」の混入が見られ、2等米への格落ちとなるものが散見されています。格落ちの主な要因は、7月下旬から8月盆頃までが高温で推移したためと分析しています（高温障害で不作年であった平成22・24年と同程度）。しかし、盆以降は涼しい日が続き、実りもゆっくりであったことから、出穂時期が8月8日以降となった地域・品種については、高温障害も少ないものと予想しています。

出穂期【コシヒカリ8月5～8日、こしいぶき7月28日、新之助8月13～15日】

### 9月19日までの検査集荷状況（単位；30kg袋）

品種名	出荷契約数	1等	2等	3等	等外	数量計	1等米比率	進捗率
コシヒカリ	506,889	8,475	14,388	1,675	123	24,662	34.4%	4.9%
こしいぶき	118,143	39,154	25,771	994	331	66,250	59.1%	56.1%
ゆきん子舞	2,874	904	1,020	37	0	1,962	46.1%	68.3%
あきたこまち	1,037	317	259	188		764	41.5%	73.7%
夢ごこち ほか	435	0	97			97	0.0%	22.3%
ちほみのり	294	0	0	231	0	231	0.0%	78.6%
つきあかり	383	34	330	137	31	532	6.4%	138.9%
五百万石 ほか	4,569	1,773	959	123	7	2,862	61.9%	62.6%
こがねもち ほか	2,874	632	791	47	0	1,470	43.0%	51.1%
合計	630,055	48,884	41,865	3,262	485	94,498	51.7%	15.0%

※主食及び水田活用米穀の合計、飼料用米除く